

令和3年度 第1回碧南市総合教育会議 次第

日時 令和3年6月24日(木)

午後3時30分～

場所 市役所 4階 庁議室

1 開会

2 市長あいさつ

3 議題

(1) 1人1台タブレットの活用方法について

(2) 意見交換

4 その他

5 閉会

令和3年度碧南市総合教育会議出席者名簿

No.		部課名	役職名	氏名
1	市長			彌田 政信
2	教育委員			伊藤 正幸
3	教育委員			高橋 世利子
4	教育委員			池田 香代子
5	教育長			生田 弘幸
6	碧南市 (事務局)	総務部	部長	奥谷 直人
7		教育部	部長	岡崎 康浩
8		経営企画課	課長	杉浦 英樹
9		経営企画課 (庶務課)	主幹	堀田 葉子
10		学校教育課	課長	小澤 徹
11		経営企画課	政策推進係長	鈴木 洋平
12		経営企画課 (庶務課)	政策推進 担当係長	亀島 有香

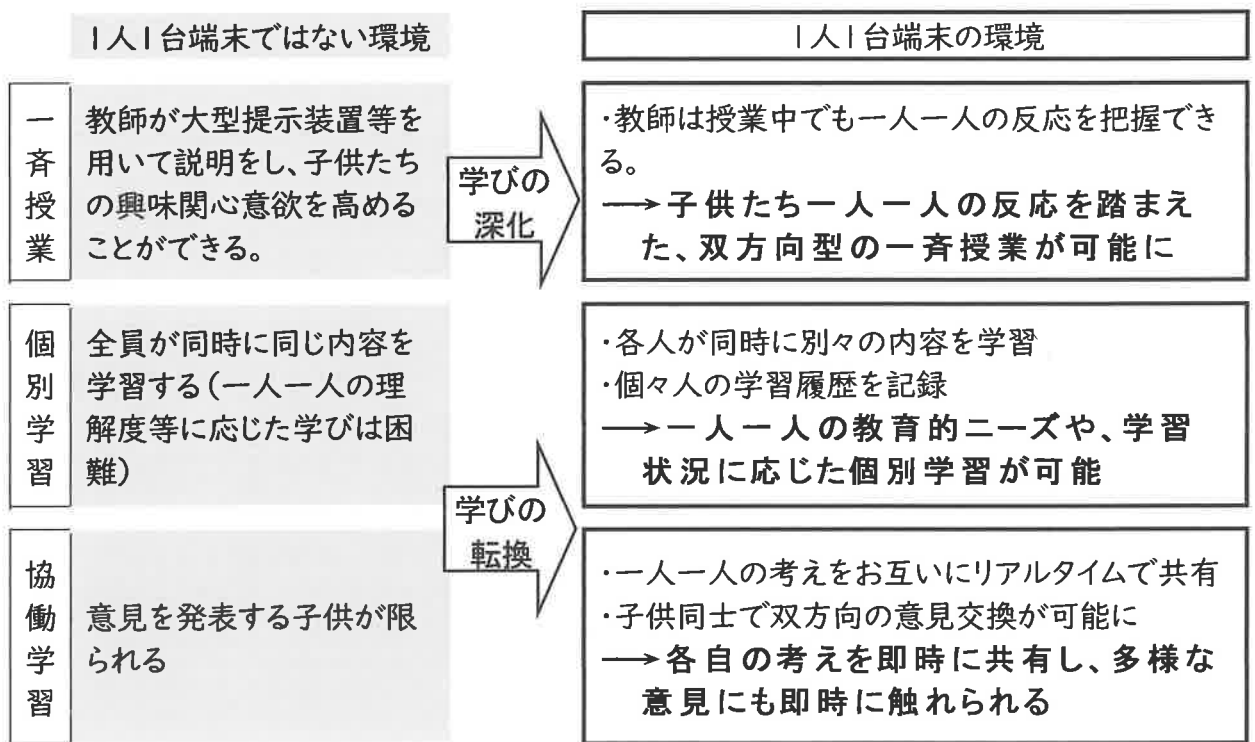
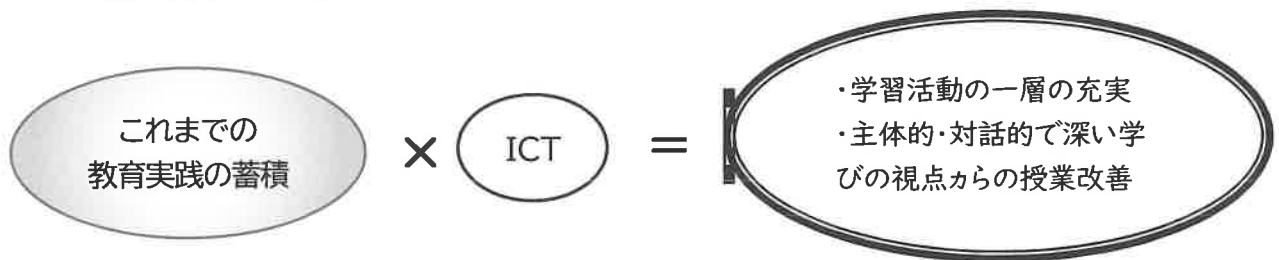
1人1台端末を活用して、碧南市の小中学校が目指す学習について

令和3年6月24日 総合教育会議資料

I 文部科学省 GIGA スクール構想

○1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する

○これまでの我が国の教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



参考資料:文部科学省「GIGAスクール構想の実現へ」

2 碧南市の小中学校がタブレットを活用して目指す学習

タブレットを活用して、おもに、以下の資質・能力の育成を目指します。

自ら目標を立て、計画的に学ぶ力 ……<自立・自律性>
情報を選択し、つなげて、伝える力 ……<言語能力、情報活用能力>
問いを創り、他者とともに解決する力……<協働性、課題発見・解決能力>

現在、小学校情報教育年間指導計画により、碧南市の児童生徒のキーボード操作をはじめとするパソコン技能の習熟度は近隣に比べて群を抜いています。今までの取組みを継続し、タブレットを活用することで「情報活用能力」についても、これまで以上に伸ばすことができると考えています。

3 タブレットを活用した授業

(1) 授業スタイル

令和3年度から「個別学習」と「協働学習」にタブレットという道具を取り入れ、児童生徒一人一人の資質・能力を最大限に伸ばす学習を実現します。

【個別学習】一人で学びに向かう

- ・粘り強く取り組む
- ・振り返って次につなげる
- ・使える知識・技能にする



<個別学習の例>

- ①自分のペースで学習する。
 - ・eライブラリのドリル機能を使う。
 - ・学習アプリを使う。
 - ・教科書のQRコードを読み取り学習する。
 - ・NHKforSchoolなどの動画を視聴して、学びを深める。
- ②カメラ機能を使ってレポートや作品をつくる。
- ③インターネットで校外学習の調べ学習をする。
- ④先生から送信された課題に取り組む。

【協働学習】仲間とともに課題を解決する

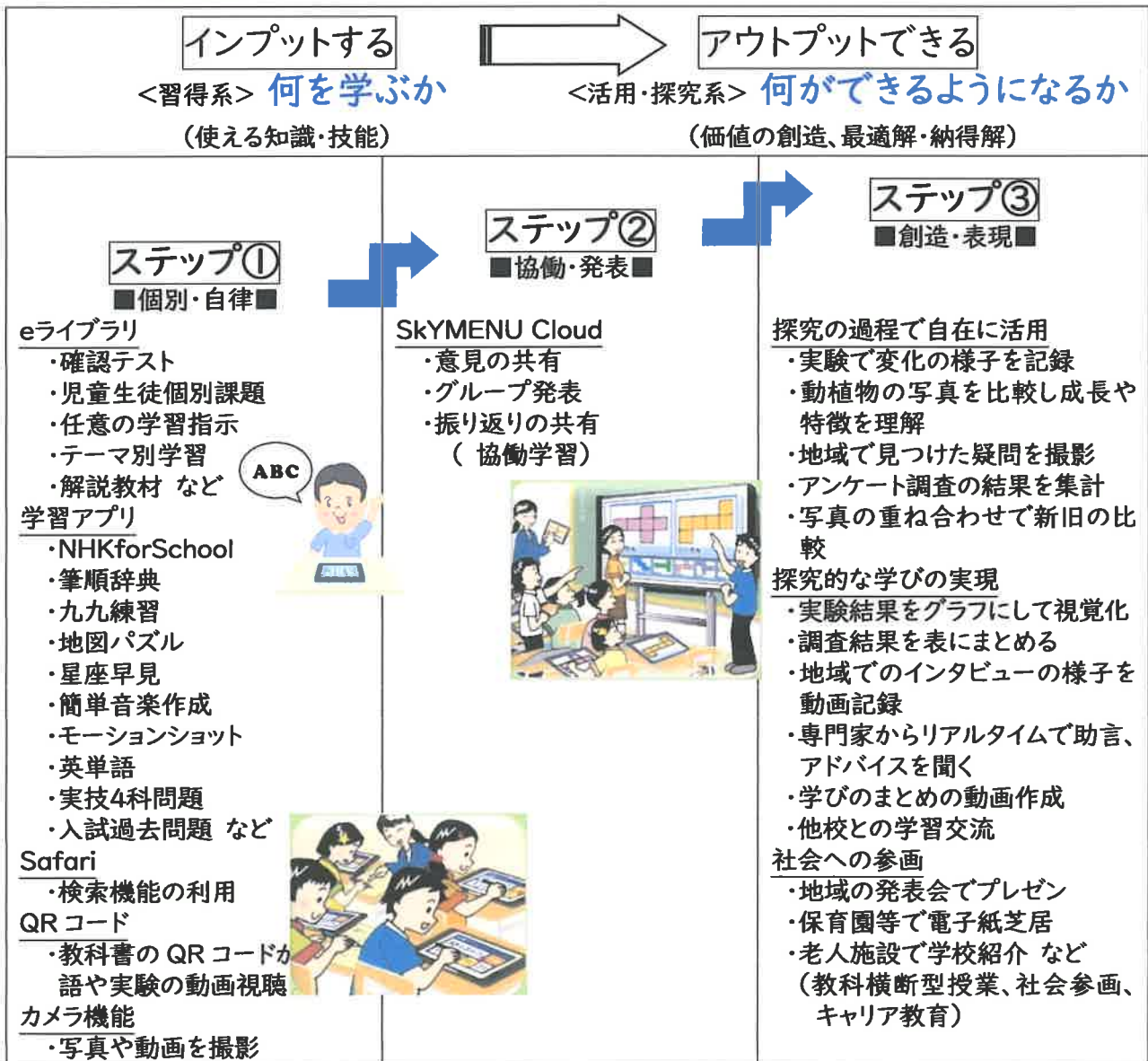
- ・互いの考えを比べ、つなげる
- ・多様な手段で説明する
- ・共に考えを創り上げる



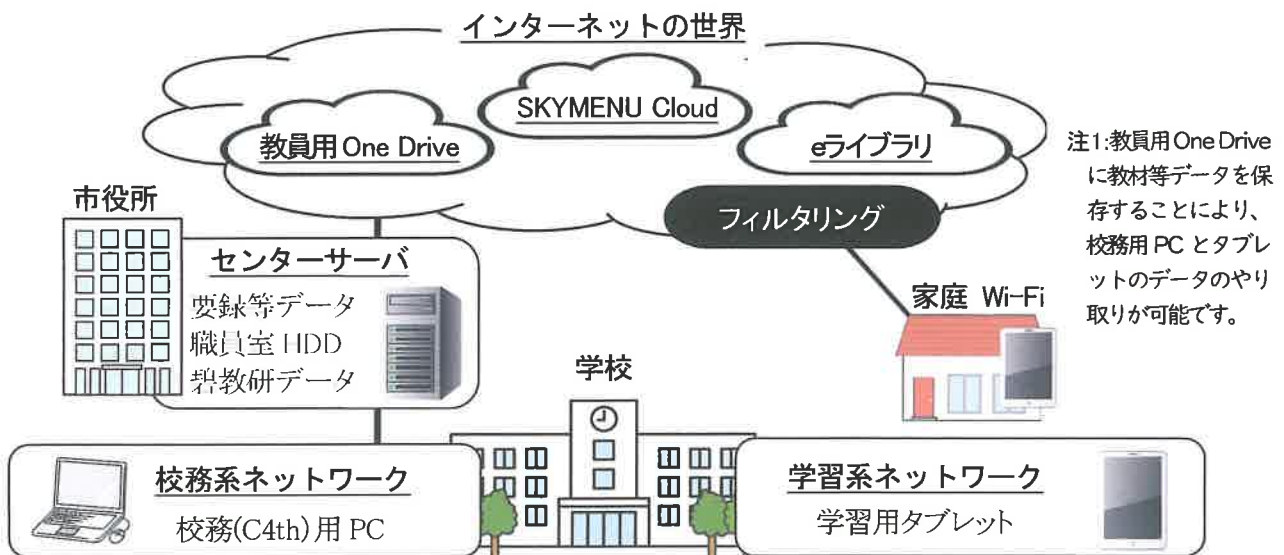
<共同学習の例>

- ①前時の児童生徒の振り返りから、新たな問いを立てる。
- ②SKYMENU Cloudの機能を利用する。
 - ・自分の考えを視覚化して伝える。
 - ・意見を比較検討する。
 - ・納得解、最適解を見出す。
 - ・グループでプレゼンする。
 - ・作品を協働制作する。
- ③オンライン授業などの交流学习を行う。

(2) 習得から活用までのステップ



<参考資料>学校におけるネットワーク



注2: パソコン室は、校務系ネットワークの一部のため、学習系ネットワークとは直接つながっていません。